

5. 市内医療機関に関する利用状況と意識

(1) 医療機関の役割分担への認知度

問34. あなたは、医療機関には役割があり、役割に応じた医療機関を受診することが望ましいことを知っていますか。(1つだけ○印)

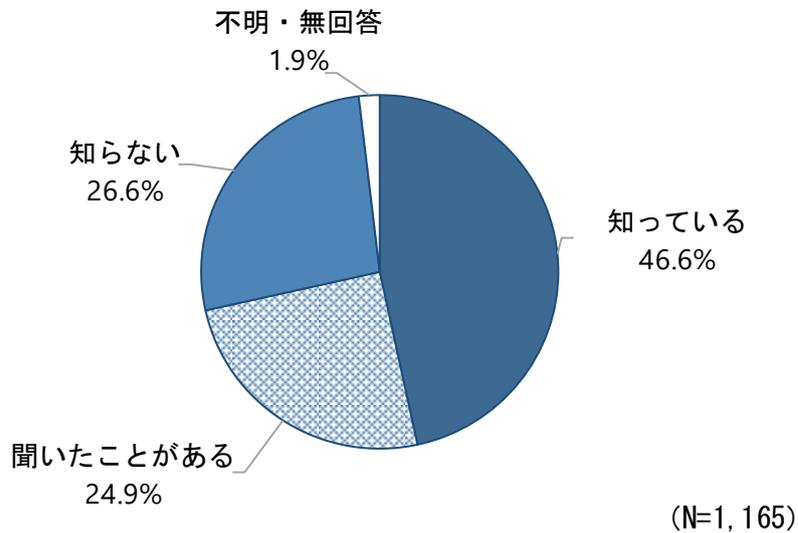


図 3.5.1 医療機関の役割分担への認知度

- 医療機関の役割分担への認知度（図3.5.1）は、「知っている」が最も多く46.6%、次いで、「知らない」が26.6%、「聞いたことがある」が24.9%となっている。
- 性別（図3.5.2）にみると、「知らない」は、女性（25.2%）よりも男性（28.3%）の方が3.1ポイント高くなっている。
- 年齢別にみると、「知っている」は、70歳以上で51.6%と過半数を占め最も多くなっている。一方、「知らない」は、30歳未満（35.6%）が最も多くなっている。
- 居住地域別にみると、「知らない」は、豊津・江坂・南吹田地域（30.9%）が最も多くなっている。一方、「知っている」は、山田・千里丘地域（51.3%）で最も多くなっている。

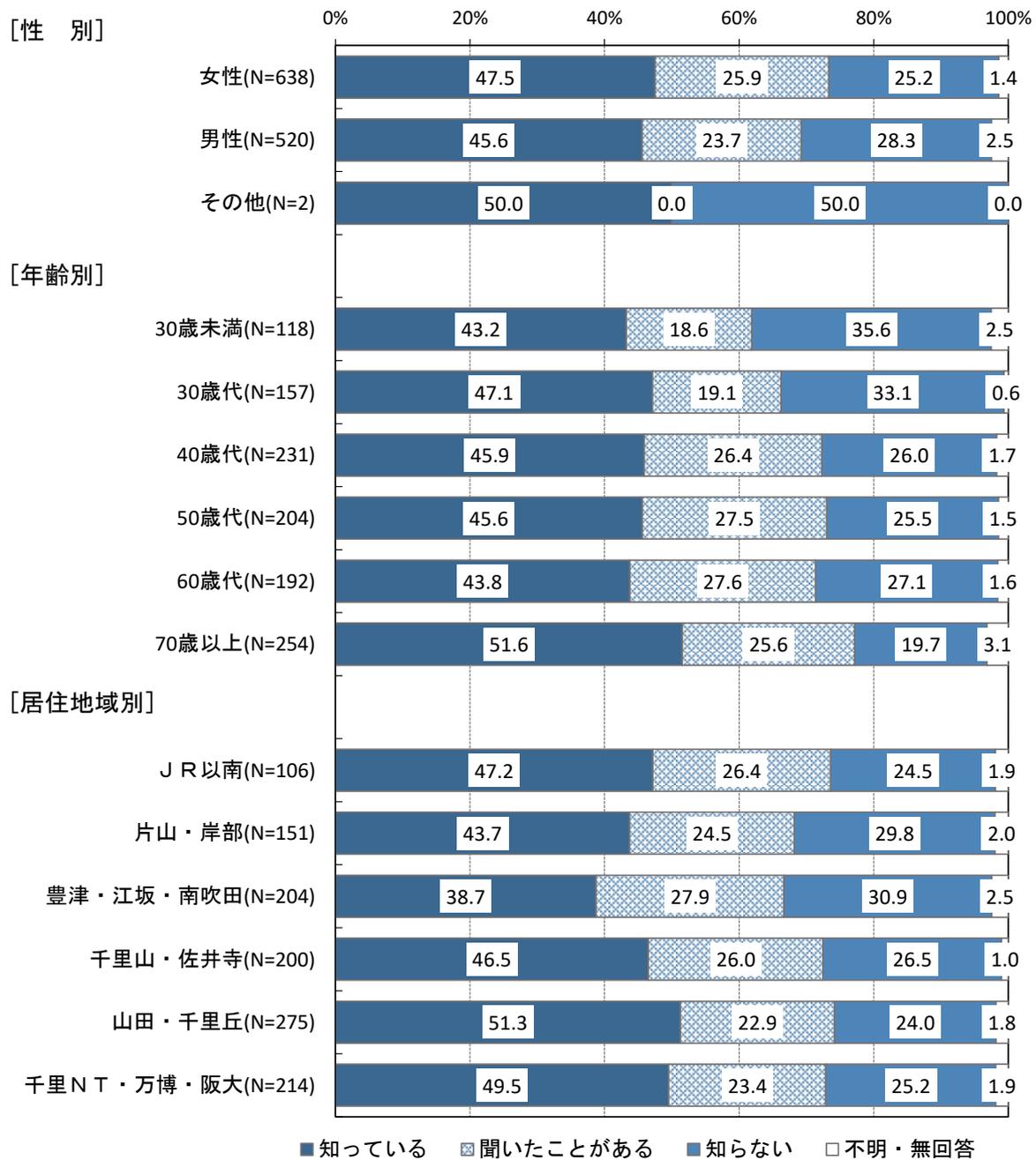
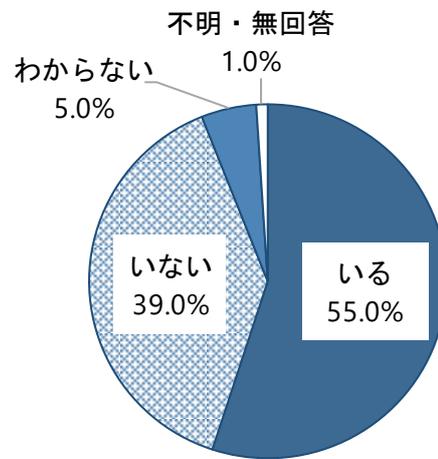


図 3.5.2 性別・年齢別・居住地域別 医療機関の役割分担への認知度

(2) かかりつけ医について
(2)-1 かかりつけ医の有無

問35. あなたには、かかりつけ医がいますか。(1つだけ○印)



(N=1,165)

図 3.5.3 かかりつけ医の有無

○かかりつけ医の有無(図3.5.3)は、「いる」が最も多く55.0%、次いで、「いない」が39.0%となっている。

○性別(図3.5.4)にみると、女性・男性ともに「いる」が最も多いが、その割合は男性(50.8%)よりも女性(58.3%)の方が7.5ポイント高くなっている。

○年齢別にみると、年齢が上がるるとともに「いる」の割合が高くなり、70歳以上(82.7%)が最も多くなっている。一方、「いない」の割合は若い年齢層ほど割合が高くなっている。

○居住地域別にみると、「いる」の割合が最も高いのは山田・千里丘地域(64.0%)で、次いで、千里ニュータウン・万博・阪大地域(60.3%)となっている。

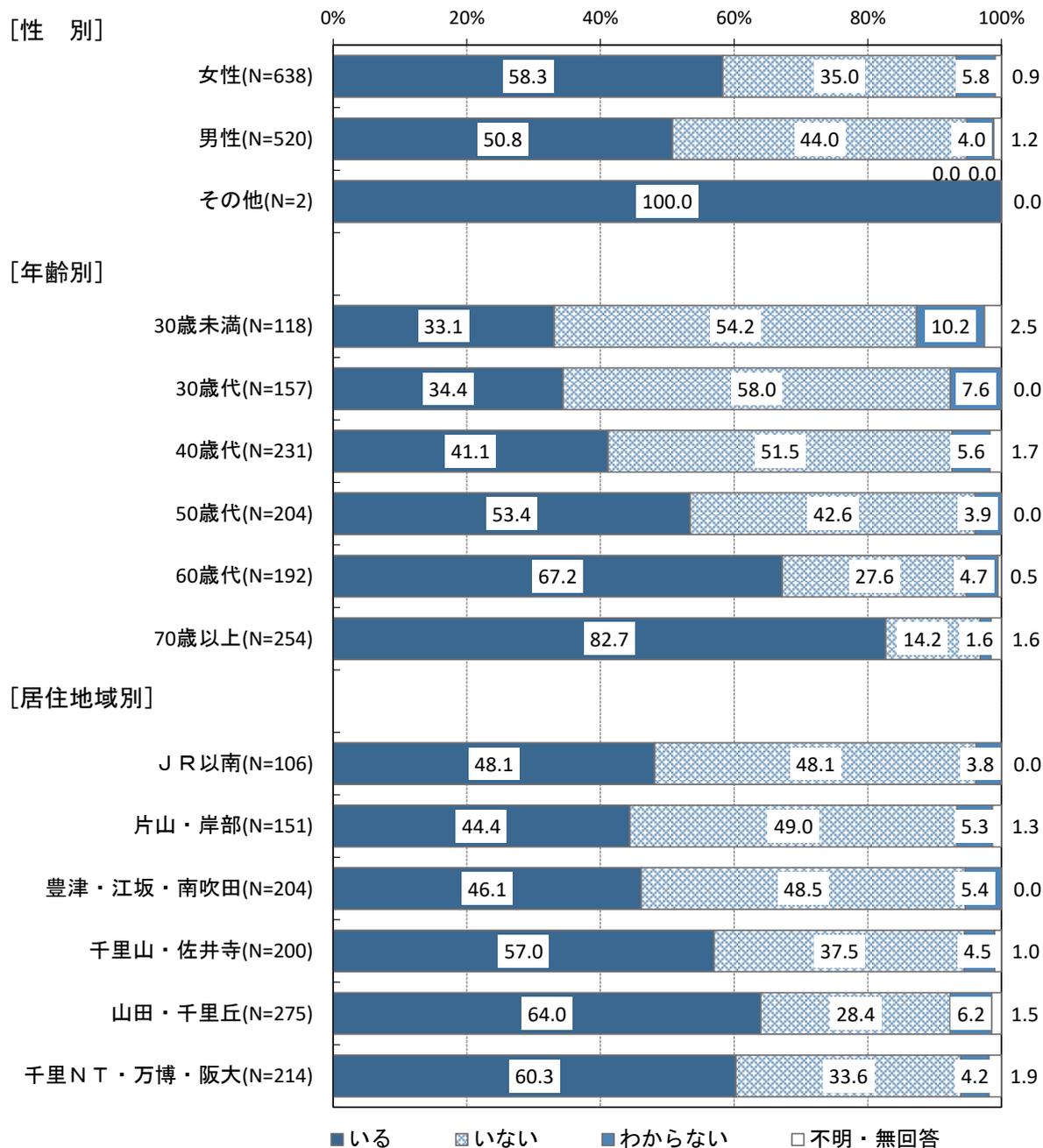


図 3.5.4 性別・年齢別・居住地域別 かかりつけ医の有無

(2)-2 かかりつけ医がない理由

※問35で「いない」「わからない」と回答した人のみ

副問 あなたがかかりつけ医をもたない理由を教えてください。(いくつでも○印)

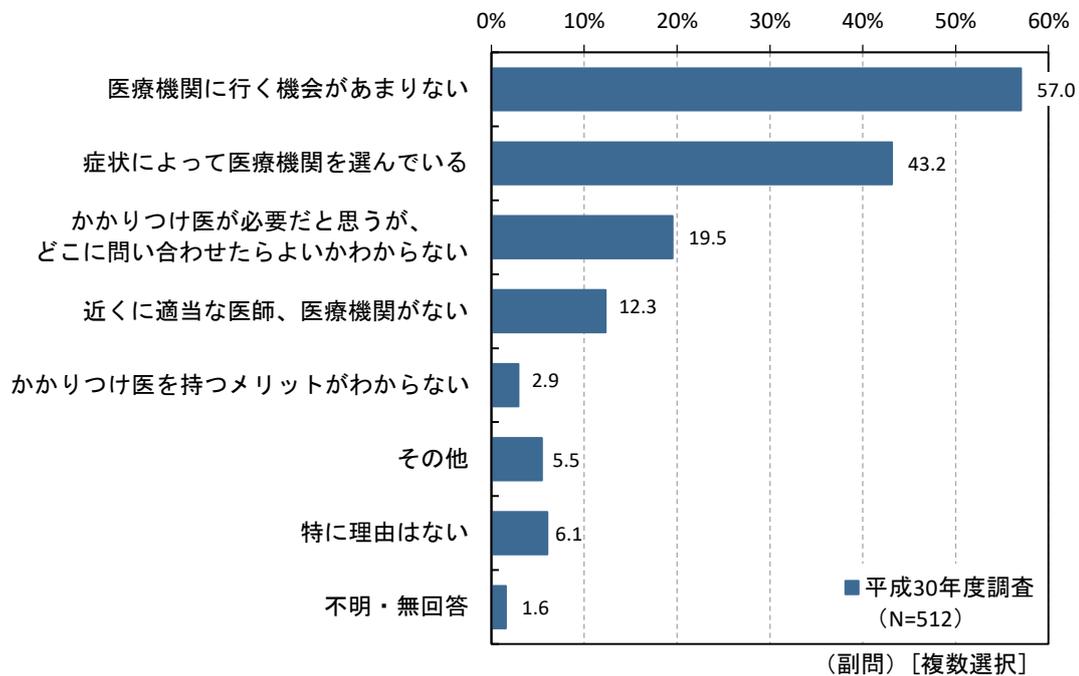


図 3.5.5 かかりつけ医がない理由

○かかりつけ医がない理由(図3.5.5)は、「医療機関に行く機会があまりない」が最も多く57.0%、次いで、「症状によって医療機関を選んでいる」が43.2%、「かかりつけ医が必要だと思うが、どこに問い合わせたらよいかわからない」が19.5%となっている。

○性別(表3.5.1)にみると、女性・男性ともに「医療機関に行く機会があまりない」が最も多くなっている。一方、「特に理由はない」は、女性(2.3%)よりも男性(10.0%)の方が7.7ポイント高くなっている。

○年齢別にみると、「医療機関に行く機会があまりない」は、30歳代(66.0%)が最も高く、次いで、30歳未満(61.8%)となっている。一方、「症状によって医療機関を選んでいる」は、60歳代(51.6%)、70歳以上(50.0%)で5割台となっている。

○居住地域別にみると、「かかりつけ医が必要だと思うが、どこに問い合わせたらよいかわからない」は、片山・岸部地域(26.8%)が最も高くなっている。一方、「近くに適切な医師、医療機関がない」は、山田・千里丘地域(15.8%)が最も高くなっている。

表 3.5.1 性別・年齢別・居住地域別 かかりつけ医がない理由

(MA 単位：%)

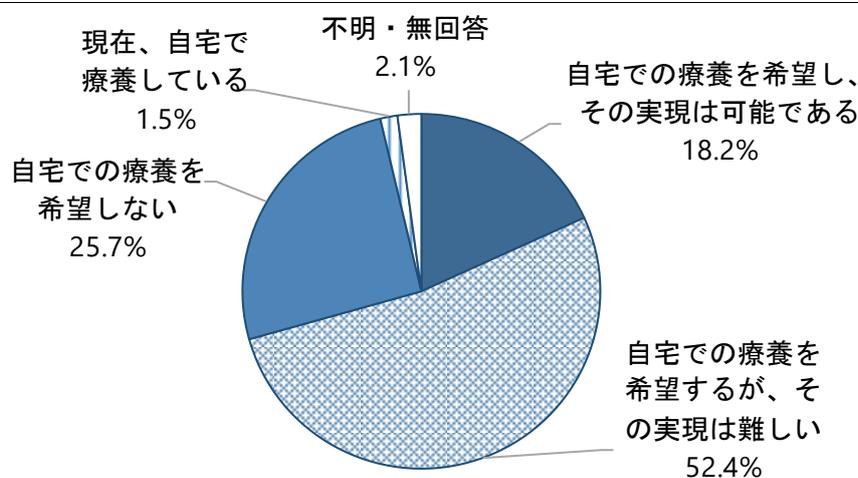
		N (人)	医療機関に行く機会があまりない	症状によって医療機関を選んでいる	いここに問い合わせたらいかがかわからな	かかりつけ医が必要だと思いが、ど	近くに適当な医師、医療機関がない	かかりつけ医を持つメリットがわか	その他	特に理由はない	不明・無回答
全 体		512	57.0	43.2	19.5	12.3	2.9	5.5	6.1	1.6	
性別	女性	260	58.1	49.2	18.5	14.2	1.9	7.3	2.3	1.2	
	男性	250	56.4	37.2	20.4	10.4	4.0	3.2	10.0	2.0	
	その他	0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	不明・無回答	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	
年齢別	30歳未満	76	61.8	30.3	17.1	7.9	1.3	6.6	9.2	3.9	
	30歳代	103	66.0	40.8	21.4	9.7	4.9	4.9	1.0	1.9	
	40歳代	132	55.3	43.2	21.2	18.9	2.3	3.0	6.8	0.8	
	50歳代	95	57.9	47.4	20.0	12.6	3.2	2.1	5.3	2.1	
	60歳代	62	51.6	51.6	21.0	4.8	1.6	4.8	8.1	0.0	
	70歳以上	40	42.5	50.0	10.0	17.5	5.0	20.0	10.0	0.0	
	不明・無回答	4	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	
居住地域別	J R以南	55	67.3	43.6	12.7	9.1	3.6	3.6	7.3	0.0	
	片山・岸部	82	54.9	47.6	26.8	12.2	8.5	6.1	8.5	0.0	
	豊津・江坂・南吹田	110	56.4	41.8	15.5	14.5	2.7	4.5	4.5	1.8	
	千里山・佐井寺	84	64.3	31.0	17.9	9.5	1.2	6.0	7.1	1.2	
	山田・千里丘	95	50.5	53.7	21.1	15.8	0.0	6.3	4.2	4.2	
	千里NT・万博・阪大	81	56.8	39.5	22.2	11.1	2.5	4.9	6.2	1.2	
	不明・無回答	5	0.0	60.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	

※網掛け■は最も多いもの

(3) 自宅療養について

(3)-1 自宅療養の希望

問36. あなたが長期の治療・療養が必要となった場合、自宅での療養を希望しますか。また、それは可能だと思いますか。(1つだけ○印)



(N=1,165)

図 3.5.6 自宅療養の希望

- 自宅療養の希望 (図3.5.6) は、「自宅での療養を希望するが、その実現は難しい」が最も多く52.4%、次いで、「自宅での療養を希望しない」が25.7%、「自宅での療養を希望し、その実現は可能である」が18.2%となっている。
- 性別 (図3.5.7) にみると、女性・男性ともに「自宅での療養を希望するが、その実現は難しい」が最も多いが、その割合は男性 (47.7%) よりも女性 (56.4%) の方が8.7ポイント高くなっている。一方、「自宅での療養を希望し、その実現は可能である」は、女性 (13.8%) よりも男性 (23.3%) の方が9.5ポイント高くなっている。
- 年齢別にみると、「自宅での療養を希望するが、その実現は難しい」は、50歳代 (55.9%) が最も高くなっている。一方、60歳代では、「自宅での療養を希望し、その実現は可能である」が13.0%で最も低く、「自宅での療養を希望しない」が28.6%で最も高くなっている。
- 居住地域別にみると、「自宅での療養を希望しない」の割合が最も高いのはJR以南地域 (32.1%)、次いで、豊津・江坂・南吹田地域 (29.4%) となっている。
- 住宅形態別にみると、「自宅での療養を希望し、その実現は可能である」は、一戸建て (賃貸) (23.1%) が最も多くなっている。一方、「自宅での療養を希望するが、その実現は難しい」は、マンション・アパート・文化住宅 (賃貸) (61.4%) が最も多くなっている。
- 家族構成別にみると、「自宅での療養を希望し、その実現は可能である」は、3世代以上世帯 (本人と親と子供、本人と親と祖父母、本人と子供と孫) (35.7%) が最も多くなっている。一方、「自宅での療養を希望するが、その実現は難しい」は、その他 (63.2%) が最も多くなっている。

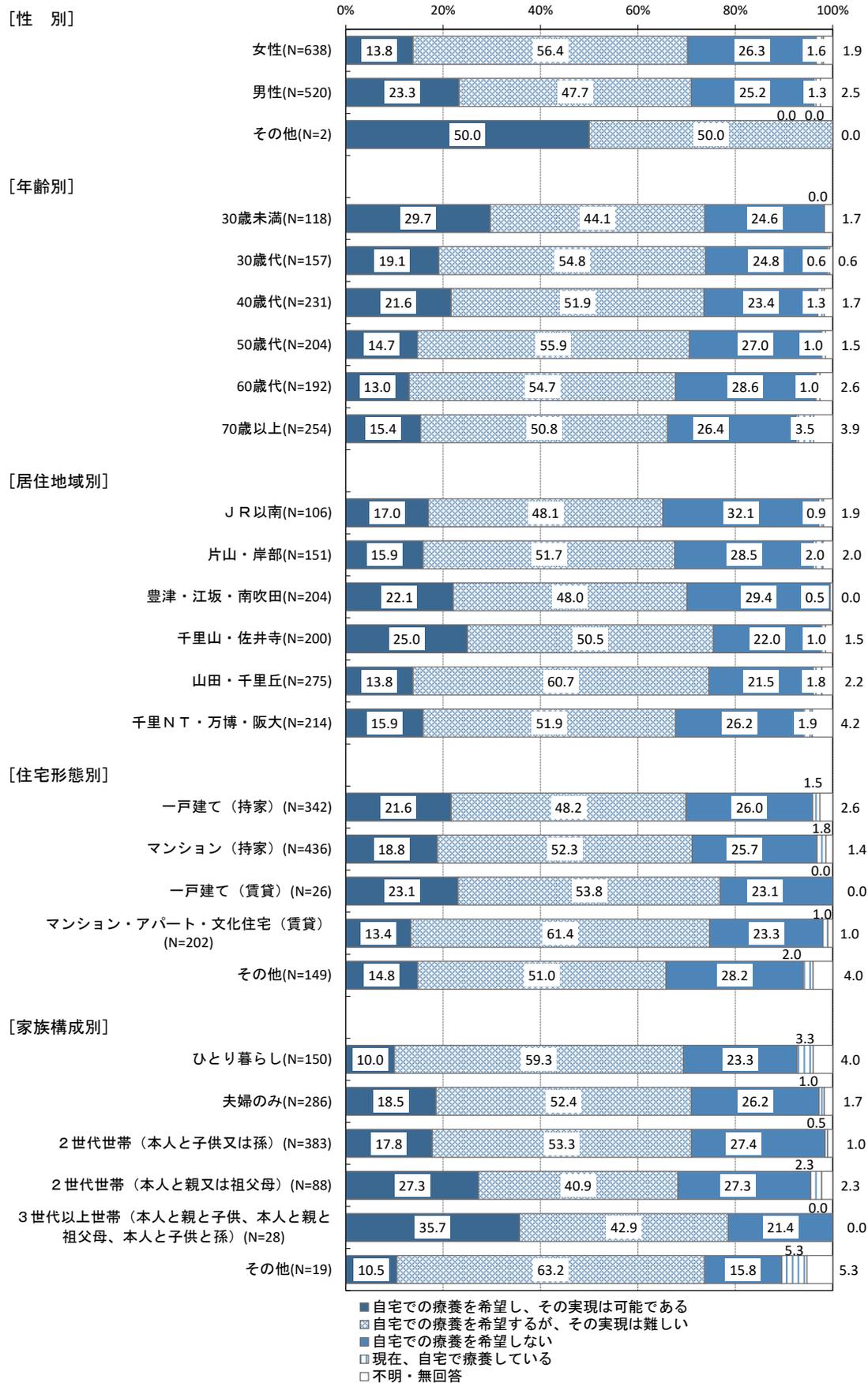


図 3.5.7 性別・年齢別・居住地別・住宅形態別・家族構成別 自宅療養の希望

(3)-2 自宅療養が実現しない・希望しない理由

※問36で「自宅での療養を希望するが、その実現は難しい」「自宅での療養を希望しない」と回答した人のみ
 副問 自宅での療養の実現が難しい、あるいは自宅での療養を希望しない理由について教えてください。(いくつでも○印)

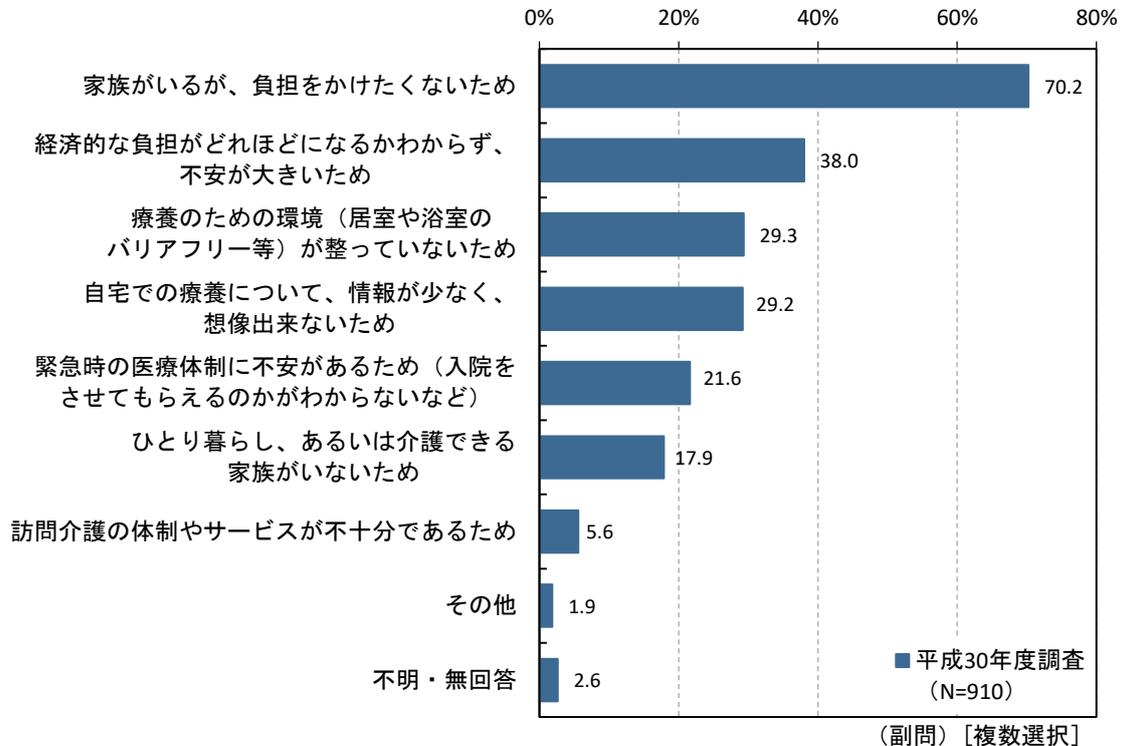


図 3.5.8 自宅療養が実現しない・希望しない理由

- 自宅療養が実現しない・希望しない理由（図3.5.8）は、「家族がいるが、負担をかけたくないため」が最も多く70.2%、次いで、「経済的な負担がどれほどになるかわからず、不安が大きい」が38.0%、「療養のための環境（居室や浴室のバリアフリー等）が整っていない」が29.3%となっている。
- 性別（表3.5.2）にみると、女性・男性ともに「家族がいるが、負担をかけたくない」が最も多くなっている。一方、「ひとり暮らし、あるいは介護できる家族がいない」は、男性（12.9%）よりも女性（21.6%）の方が8.7ポイント高くなっている。
- 年齢別にみると、「家族がいるが、負担をかけたくない」は、30歳代から60歳代では7割台となっているが、30歳未満、70歳以上は5割台となっている。
- 居住地域別にみると、「ひとり暮らし、あるいは介護できる家族がいない」は、豊津・江坂・南吹田地域（30.4%）が最も多くなっている。一方、千里山・佐井寺地域（10.3%）が最も低くなっている。
- 住宅形態別にみると、「家族がいるが、負担をかけたくない」は、「一戸建て（持家）」（76.4%）、「マンション（持家）」（75.0%）の持家の方が「一戸建て（賃貸）」（55.0%）、「マンション・アパート・文化住宅（賃貸）」（55.0%）に比べ多くなっている。

表 3.5.2 性別・年齢別・居住地域別・住宅形態別・家族構成別 自宅療養が実現しない・希望しない理由

(MA 単位：%)

		N (人)	家族がいるが、負担をかけたくないため	経済的な負担がどれほどになるかわからず、不安が大きい	療養のための環境（居室や浴室のバリアフリー等）が整っていないため	自宅での療養について、情報が少なく、想像出来ないため	緊急時の医療体制に不安があるため（入院をさせてもらえないのがわかからないなど）	ひとり暮らし、あるいは介護できる家族がいないため	訪問介護の体制やサービスが不十分であるため	その他	不明・無回答
全体		910	70.2	38.0	29.3	29.2	21.6	17.9	5.6	1.9	2.6
性別	女性	528	71.2	38.6	29.2	29.9	22.0	21.6	5.3	1.9	2.7
	男性	379	68.9	36.9	29.3	28.0	21.1	12.9	6.1	1.8	2.6
	その他	1	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	不明・無回答	2	100.0	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	30歳未満	81	55.6	37.0	21.0	34.6	16.0	24.7	3.7	0.0	2.5
	30歳代	125	75.2	39.2	28.0	30.4	17.6	15.2	4.0	0.8	1.6
	40歳代	174	75.9	40.2	24.7	31.0	23.6	16.7	6.3	2.3	1.7
	50歳代	169	76.3	40.8	33.7	29.0	18.9	16.0	5.3	2.4	3.6
	60歳代	160	73.8	35.6	29.4	26.9	21.3	15.0	3.8	3.1	3.8
	70歳以上	196	59.7	35.2	33.7	27.0	28.1	21.9	8.7	1.5	2.6
	不明・無回答	5	80.0	40.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
居住地域別	JR以南	85	58.8	40.0	35.3	21.2	17.6	18.8	2.4	2.4	3.5
	片山・岸部	121	71.1	30.6	28.9	21.5	22.3	19.0	6.6	0.8	1.7
	豊津・江坂・南吹田	158	62.7	34.8	29.7	29.7	20.9	30.4	6.3	3.8	3.8
	千里山・佐井寺	145	75.2	44.1	29.7	28.3	21.4	10.3	4.1	0.0	4.1
	山田・千里丘	226	76.1	41.6	29.6	33.2	25.7	12.4	5.3	1.3	1.8
	千里NT・万博・阪大	167	69.5	35.9	25.1	34.1	19.8	19.2	7.8	2.4	1.8
	不明・無回答	8	87.5	25.0	37.5	25.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0
住宅形態別	一戸建て（持家）	254	76.4	29.1	33.1	28.0	25.2	13.0	5.1	1.6	2.8
	マンション（持家）	340	75.0	38.5	26.2	32.6	22.4	13.2	7.4	1.5	1.8
	一戸建て（賃貸）	20	55.0	55.0	35.0	15.0	10.0	20.0	0.0	5.0	5.0
	マンション・アパート・文化住宅（賃貸）	171	55.0	44.4	28.7	29.2	18.7	32.2	4.1	2.9	2.3
	その他	118	66.9	44.1	29.7	25.4	17.8	21.2	4.2	1.7	4.2
	不明・無回答	7	85.7	28.6	42.9	14.3	28.6	14.3	14.3	0.0	14.3
家族構成別	ひとり暮らし	124	16.9	37.9	12.1	22.6	12.1	88.7	3.2	3.2	3.2
	夫婦のみ	225	76.4	37.8	33.8	29.8	24.0	7.1	7.1	2.2	3.1
	2世代世帯 （本人と子供又は孫）	309	84.1	36.2	33.7	29.4	22.0	3.2	4.5	1.3	1.3
	2世代世帯 （本人と親又は祖父母）	60	76.7	43.3	30.0	35.0	20.0	10.0	6.7	0.0	3.3
	3世代以上世帯（本人と親と子供、本人と親と祖父母、本人と子供と孫）	18	72.2	44.4	38.9	22.2	33.3	5.6	0.0	0.0	0.0
	その他	15	46.7	46.7	40.0	60.0	20.0	20.0	13.3	6.7	0.0
	不明・無回答	159	75.5	38.4	25.8	28.9	24.5	10.7	6.9	1.9	4.4

※網掛け■は最も多いもの

(4) 市内の医療機関の満足度

問37. あなたは、吹田市内の医療機関について、どのように感じていますか。
以下の①～⑤の項目について、それぞれ1つずつ選んで番号に○印をつけてください。

※『満足』:「非常に満足」と「満足」の合計
『不満足』:「不満足」と「非常に不満足」の合計
『満足度評価点』:「非常に満足」=100点、「満足」=75点、
「どちらとも言えない」=50点、「不満足」=25点、「非常に不満足」=0点として算出
(評価点については、p. 29 参照)

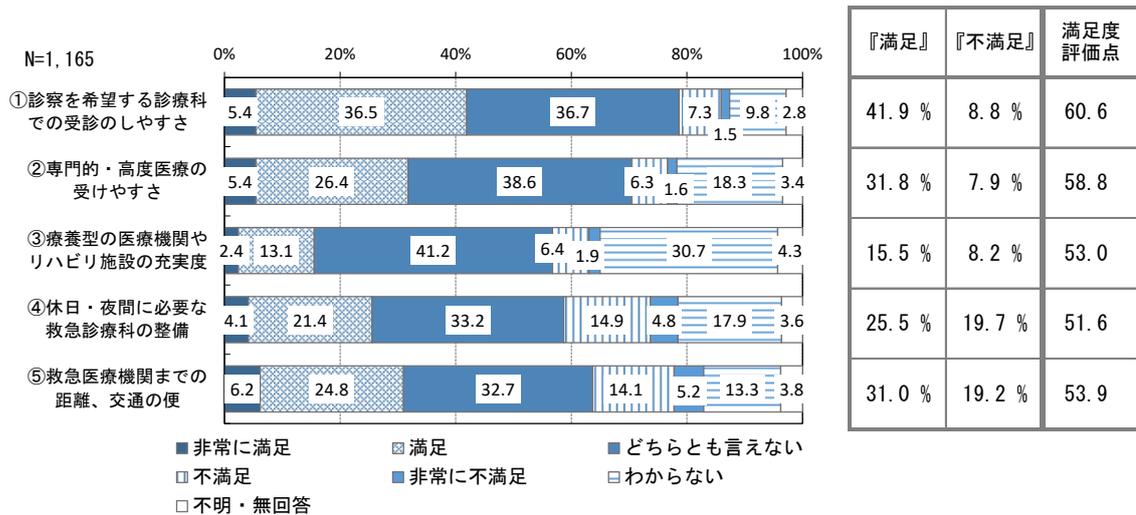


図 3.5.9 市内の医療機関の満足度

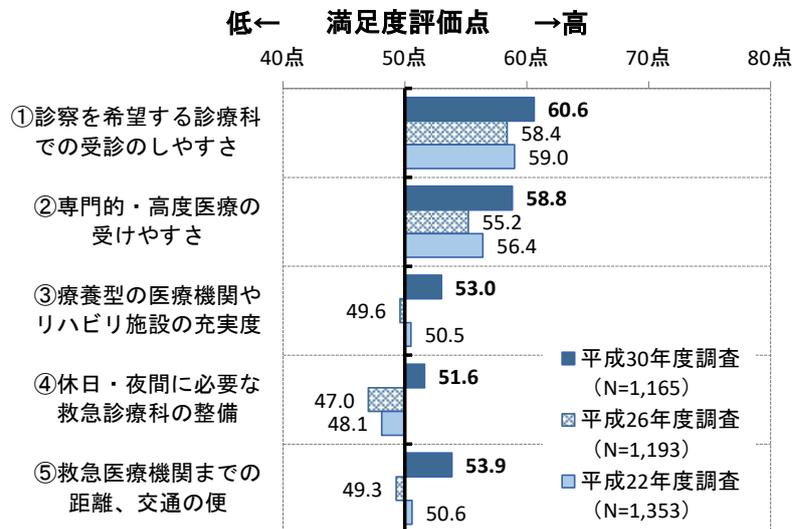


図 3.5.10 市内の医療機関の満足度評価点 経年比較

- 市内の医療機関の満足度（図3.5.9）は、全ての項目で「どちらとも言えない」が最も多くなっている。また、全ての項目で『満足』の方が『不満足』に比べ割合が高くなっている。
- 平成26年度調査・平成22年度調査と評価点（図3.5.10）を比較すると、全ての項目で平成26年度調査・平成22年度調査よりも評価点が高くなっている。特に、《④休日・夜間に必要な救急診療科の整備》、《⑤救急医療機関までの距離、交通の便》は平成26年度調査よりもいずれも4.6ポイント高くなっている。
- 市内の医療機関の満足度評価点を性別（表3.5.3）にみると、女性・男性ともに《①診察を希望する診療科での受診のしやすさ》が60点以上となっている。
- 年齢別にみると、《①診察を希望する診療科での受診のしやすさ》は、70歳以上（65.7点）、30歳未満（64.5点）で特に高く、《②専門的・高度医療の受けやすさ》は、70歳以上（62.2%）で特に高くなっている。
- 居住地域別にみると、《①診察を希望する診療科での受診のしやすさ》は、千里ニュータウン・万博・阪大地域（63.3点）、JR以南地域（61.9点）、片山・岸部地域（61.1点）で特に高くなっている。また、《②専門的・高度医療の受けやすさ》は、千里ニュータウン・万博・阪大地域（60.8点）で他の地域よりも満足度評価点が高くなっている。
- 家族構成別にみると、《①診察を希望する診療科での受診のしやすさ》は、65歳以上の親族なし（58.7点）よりも65歳以上の親族あり（63.0点）の方が4.3点高くなっている。

表 3.5.3 性別・年齢別・居住地域別・家族構成別 市内の医療機関の満足度評価点

(単位：点)

		N (人)	① 診察を受診の希望する診療科	② 受けやすい・高度医療の	③ リハビリ型の医療機関や	④ 救急診療科の整備	⑤ 休日・夜間に必要な	⑤ 距離、救急医療機関までの
全体		1,165	60.6	58.8	53.0	51.6	53.9	
性別	女性	638	60.9	58.5	52.5	50.7	52.9	
	男性	520	60.1	59.3	53.5	52.5	54.8	
	その他	2	50.0	12.5	37.5	50.0	62.5	
	不明・無回答	5	75.0	68.8	66.7	83.3	81.3	
年齢別	30歳未満	118	64.5	58.5	57.0	50.6	58.1	
	30歳代	157	59.5	59.1	54.5	51.5	50.6	
	40歳代	231	58.3	57.3	51.9	49.5	50.0	
	50歳代	204	57.7	58.0	50.9	49.4	55.7	
	60歳代	192	58.1	57.1	48.4	52.1	52.9	
	70歳以上	254	65.7	62.2	56.8	56.1	57.1	
	不明・無回答	9	62.5	59.4	53.6	42.9	53.1	
居住地域別	J R以南	106	61.9	57.6	54.0	53.4	56.1	
	片山・岸部	151	61.1	59.6	51.9	53.3	56.5	
	豊津・江坂・南吹田	204	58.8	57.2	52.9	51.3	50.0	
	千里山・佐井寺	200	59.1	58.2	52.5	47.1	50.0	
	山田・千里丘	275	59.8	58.8	52.7	51.1	53.6	
	千里NT・万博・阪大	214	63.3	60.8	53.8	55.0	58.5	
	不明・無回答	15	70.8	65.0	61.1	55.6	57.5	
家族構成別	15歳未満の親族あり	265	59.5	59.3	53.4	48.5	49.7	
	うち12歳未満の親族あり	235	59.6	59.2	54.1	48.6	49.6	
	うち6歳未満の親族あり	146	59.5	60.0	54.3	48.2	49.0	
	15歳未満の親族なし	881	60.9	58.7	52.9	52.8	55.3	
	65歳以上の親族あり	490	63.0	60.0	53.8	54.2	55.6	
	うち75歳以上の親族あり	221	66.5	62.1	56.0	54.8	56.7	
	うち85歳以上の親族あり	30	64.8	63.5	57.5	46.6	57.7	
	65歳以上の親族なし	656	58.7	58.0	52.4	49.9	52.7	

※網掛け■は60点以上のもの

(5) 吹田市民病院（片山町）に対する希望・評価

(5)-1 吹田市民病院（片山町）に望む基本的な役割・機能

問38. あなたは、公的病院としての吹田市民病院に基本的な役割・機能としてどのようなことを望みますか。（3つまで○印）

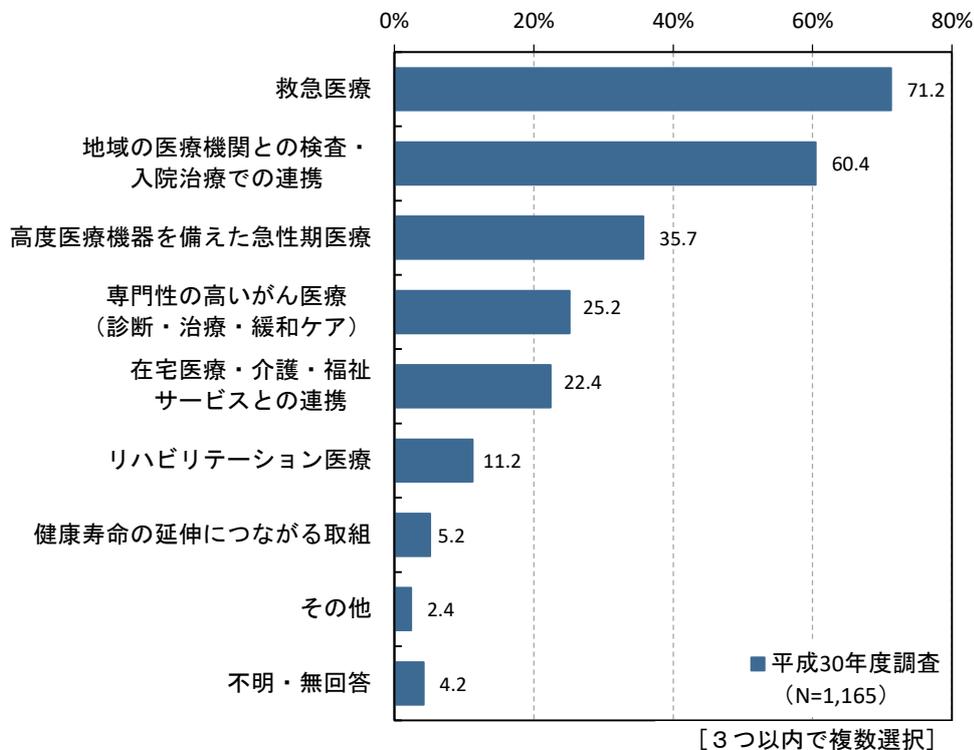


図 3.5.11 吹田市民病院に望む基本的な役割・機能

○吹田市民病院に望む基本的な役割・機能（図3.5.11）は、「救急医療」が最も多く71.2%、次いで、「地域の医療機関との検査・入院治療での連携」が60.4%、「高度医療機器を備えた急性期医療」が35.7%となっている。

○性別（表3.5.4）にみると、女性・男性ともに「救急医療」が最も多いが、その割合は女性（68.7%）よりも男性（74.4%）の方が5.7ポイント高くなっている。一方、「在宅医療・介護・福祉サービスとの連携」は、男性（19.2%）よりも女性（24.9%）の方が5.7ポイント高くなっている。

○年齢別にみると、30歳未満から60歳代では「救急医療」が最も多く、70歳以上では「地域の医療機関との検査・入院治療での連携」が最も多くなっている。

○居住地域別にみると、全地域で「救急医療」が最も多くなっている。次いで多い「地域の医療機関との検査・入院治療での連携」は、山田・千里丘地域（65.1%）が最も高くなっている。

○家族構成別にみると、「救急医療」は、15歳未満の親族なし（68.3%）よりも15歳未満の親族あり（82.6%）の方が14.3ポイント高くなっている。一方、65歳以上の親族ありでは、65歳以上の親族なしに比べて、「在宅医療・介護・福祉サービスとの連携」、「リハビリテーション医療」、「健康寿命の延伸につながる取組」の割合が高くなっている。

表 3.5.4 性別・年齢別・居住地域別・家族構成別 吹田市民病院に望む基本的な役割・機能

(3 L A 単位：%)

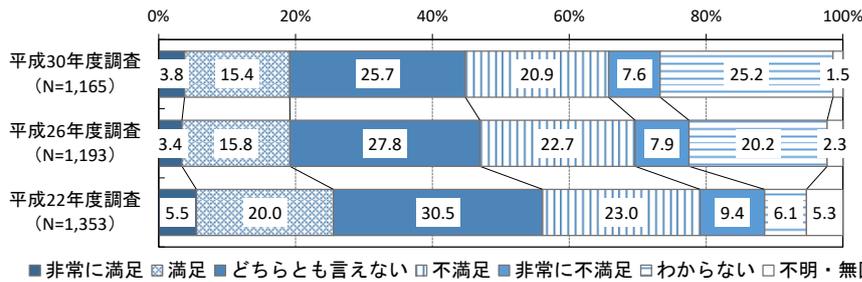
		N (人)	救急医療	入院治療での連携・地域の医療機関との検査・	高度医療機器を備えた急性期医療	専門性の高いがん医療(診断・治療・緩和ケア)	在宅医療・介護・福祉サービスとの連携	リハビリテーション医療	健康寿命の延伸につながる取組	その他	不明・無回答
全体		1,165	71.2	60.4	35.7	25.2	22.4	11.2	5.2	2.4	4.2
性別	女性	638	68.7	59.9	33.1	27.3	24.9	12.1	5.2	2.5	4.9
	男性	520	74.4	61.3	38.7	22.9	19.2	10.2	5.2	2.3	3.3
	その他	2	100.0	50.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	不明・無回答	5	60.0	40.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0
年齢別	30歳未満	118	72.0	48.3	33.9	24.6	13.6	8.5	8.5	5.1	2.5
	30歳代	157	81.5	57.3	35.7	26.8	8.9	8.3	4.5	1.3	4.5
	40歳代	231	74.9	61.9	38.1	26.4	18.2	6.9	4.3	2.6	3.9
	50歳代	204	73.5	62.3	32.8	27.9	24.5	10.3	5.9	1.5	2.5
	60歳代	192	68.2	62.5	35.4	24.0	30.2	16.1	3.6	3.1	4.2
	70歳以上	254	62.6	63.8	37.0	22.4	31.1	15.0	5.5	2.0	5.9
	不明・無回答	9	44.4	55.6	33.3	11.1	22.2	22.2	0.0	0.0	22.2
居住地域別	J R以南	106	70.8	59.4	32.1	32.1	23.6	11.3	8.5	3.8	4.7
	片山・岸部	151	76.8	57.0	35.8	22.5	18.5	10.6	3.3	0.0	6.0
	豊津・江坂・南吹田	204	74.0	55.9	35.3	26.0	24.5	8.3	5.9	1.5	3.4
	千里山・佐井寺	200	72.0	64.0	36.0	24.0	21.0	13.0	6.0	3.5	2.0
	山田・千里丘	275	70.9	65.1	38.2	24.4	20.4	10.5	3.3	2.9	4.0
	千里NT・万博・阪大	214	64.5	58.4	34.6	25.7	26.2	14.0	6.1	2.8	5.1
	不明・無回答	15	73.3	60.0	33.3	13.3	26.7	6.7	0.0	0.0	13.3
家族構成別	15歳未満の親族あり	265	82.6	61.5	35.5	23.8	11.7	7.2	4.5	2.6	2.6
	うち12歳未満の親族あり	235	83.4	62.1	33.6	24.3	10.6	6.8	5.1	2.6	2.1
	うち6歳未満の親族あり	146	83.6	61.0	33.6	24.7	9.6	8.2	6.8	4.1	1.4
	15歳未満の親族なし	881	68.3	60.3	35.6	25.2	25.8	12.6	5.1	2.4	4.5
	65歳以上の親族あり	490	63.5	60.4	34.5	23.9	30.0	16.1	5.7	3.1	5.3
	うち75歳以上の親族あり	221	59.7	59.7	31.7	24.9	32.6	14.9	5.9	4.1	5.0
	うち85歳以上の親族あり	30	66.7	46.7	36.7	23.3	36.7	23.3	6.7	3.3	3.3
65歳以上の親族なし	656	77.7	60.7	36.4	25.6	16.9	7.8	4.4	2.0	3.2	

※網掛け■は最も多いもの

(5)-2 吹田市民病院（片山町）への通院所要時間の満足度

問39. 現在の吹田市民病院の通院所要時間について、あなたはどのように感じていますか。
（1つだけ○印）

※『満足』:「非常に満足」と「満足」の合計
『不満足』:「不満足」と「非常に不満足」の合計
『満足度評価点』:「非常に満足」=100点、「満足」=75点、
「どちらとも言えない」=50点、「不満足」=25点、「非常に不満足」=0点として算出
(評価点については、p. 29 参照)



『満足』	『不満足』	満足度評価点
19.1 %	28.5 %	45.5
19.1 %	30.6 %	44.8
25.6 %	32.5 %	46.9

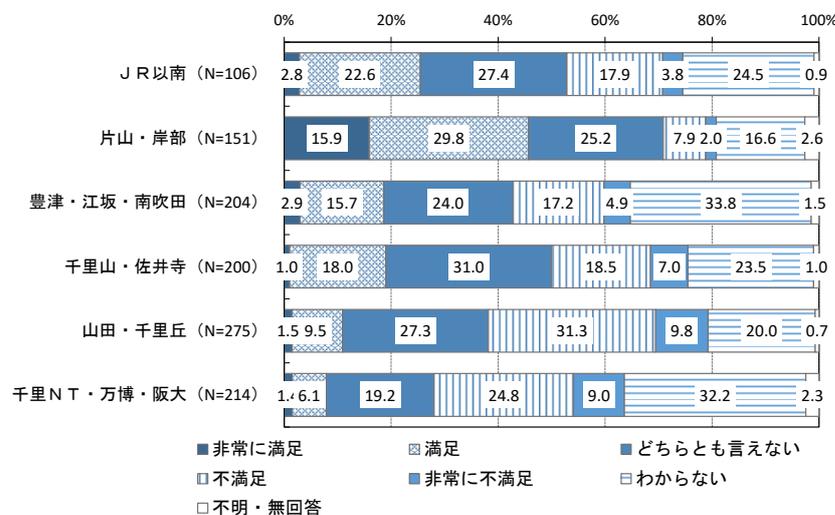
※平成 22 年度は自分または家族が治療を受けたことがある人のみ回答

図 3. 5. 12 吹田市民病院への通院所要時間の満足度（経年比較）

○吹田市民病院への通院所要時間の満足度（図3. 5. 12）は、「どちらとも言えない」が25.7%と最も多いが、『不満足』（28.5%）の方が『満足』（19.1%）に比べ割合が9.4ポイント高くなっている。

○平成26年度調査と比較すると、評価点は、平成26年度調査（44.8点）よりも0.7点高くなっている。

○居住地域別（図3. 5. 13）にみると、『満足』は片山・岸部地域（45.7%）が最も高くなっている。評価点は、片山・岸部地域（65.4点）のみ60点を超えているが、山田・千里丘地域（37.8点）、千里ニュータウン・万博・阪大地域（36.0点）は30点台となっている。



『満足』	『不満足』	満足度評価点
25.5 %	21.7 %	49.8
45.7 %	9.9 %	65.4
18.6 %	22.1 %	46.6
19.0 %	25.5 %	45.9
10.9 %	41.1 %	37.8
7.5 %	33.8 %	36.0

図 3. 5. 13 居住地域別 吹田市民病院への通院所要時間の満足度